



愛知県で最も長い歴史を持つ私立のリハビリテーション単科の短期大学「愛知医療学院短期大学」（愛知県清洲市）。少数精鋭で就職率一〇〇%を誇る。同短大の学長となって五年、大学改革を推進してきた舟橋啓臣学長に話を聞いた。

学生との距離を近く持ち親身に指導 就職率は一〇〇%高い国家資格取得率

——公立の大学も含めても県内で二番目に古い歴史を持つ医療系大学とお聞きしました。

舟橋 昭和五十七年に、専門学校・愛知医療学院として設立され、平成二十二年に愛知医療学院短期大学として改組しました。全学リハビリテーション学科で、理学療法学専攻が四〇人、作業療法学専攻も四〇人です。短大は三年制のため全学で学生は二四〇人。大学としては小規模です。

四年制大学と同様の学科を持つ大学が増えましたが、取得できる資格は本学と同じです。しかも本

学は三年で卒業・就職しますので他大学より一年早く働き始められます。奨学金を受給している生徒は全国平均と同じ五〇%ですが、学生の卒業後の返済額は大きく違いますね。しかも就職率は一〇〇%です。

卒業生の九割は県内のリハビリ施設がある病院などに就職します。——成績の良い生徒は四年制大学に流れがちと思われませんが。

舟橋 確かに勉強の苦手な学生も入学してきます。ですから本学への新入生には、入学前教育を導入しています。短大での勉強に必

要な国語・数学・物理を三日間学び、高校時代に学んだことを思い出してもらおうのです。

新入生には「留年したら奨学金はストップする。親に迷惑をかけるようなよう三年間できっちり卒業を」と、何度も厳しく指導しています。

本学には「学習アドバイザー制度」があります。職員がそれぞれ学生約二〇人ずつを受け持ち責任を持って指導するシステムで、まさに「手取り足取り」の指導です。職員は熱心に厳しく指導しますが、その分、生徒と仲良くもな

ります。それだけ職員と学生の距離が近い。これは他の学校には無く「こんな大学があるんだな」と驚かれます。

——学長室に、すべての学生の顔写真と名前が貼ってあります。これは職員と生徒の距離の近さをあらわしていますね。

舟橋 私が学長になって五年、さまざまな大学改革が功を奏し、平成二十二年度には一六%だった退学者の割合を、五%台（全国平均以下）までに減らしました。今の若い世代は何事もすぐあきらめて退学者が多い傾向にあります